

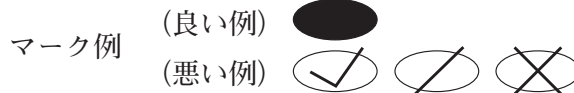
令和6年度（令和5年度実施）  
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
 筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部  
 家庭

受審番号		氏名	
------	--	----	--

**【注意事項】**

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

(例)

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

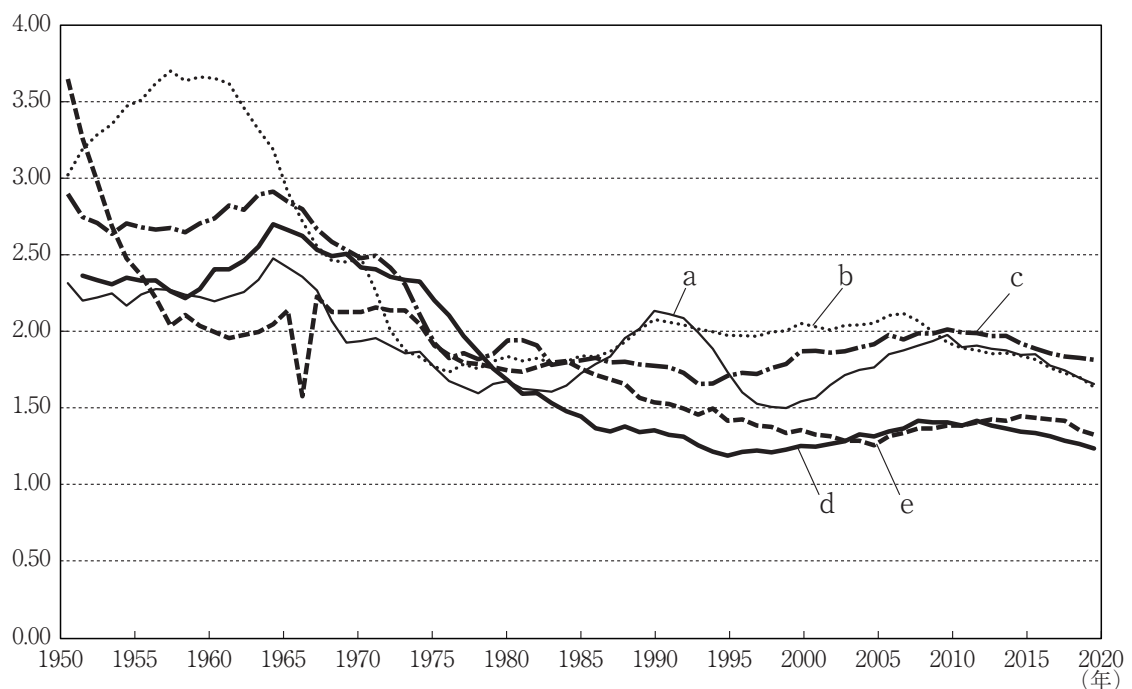


## 【共通問題】

第1問 家族・家庭生活，保育，高齢者・共生に関する各問いに答えなさい。

1 家族・家庭生活に関する(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の図は，諸外国（フランス，アメリカ，スウェーデン，イタリア）と日本の合計特殊出生率の動きを示したものである。日本に該当するものを，図中のa～eから一つ選びなさい。



(内閣府「令和4年版 少子化社会対策白書」より作成)

(2) 次の説明文に該当する語句として適切なものを，下のa～eから一つ選びなさい。

自治体が同性カップルなどをパートナーとして公的に認める日本の制度で，2015年の東京都渋谷区を皮切りに全国で導入する自治体が増えている。制度を利用したカップルには証明書が発行される。

- a ステップファミリー
- b 事実婚
- c パックス
- d パートナーシップ制度
- e サムボ

(3) 戸籍法第十六条から第十八条の条文について適切ではないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 婚姻の届出があつたときは、夫婦について新戸籍を編製する。但し、夫婦が、夫の氏を称する場合に夫、妻の氏を称する場合に妻が戸籍の筆頭に記載した者であるときは、この限りでない。
- b 夫婦が、妻の氏を称する場合に、妻が戸籍の筆頭に記載した者であるときは、妻の氏を称する夫は、夫の戸籍に入る。
- c 日本人と外国人との婚姻の届出があつたときは、その日本人について新戸籍を編製する。ただし、その者が戸籍の筆頭に記載した者であるときは、この限りでない。
- d 戸籍の筆頭に記載した者及びその配偶者以外の者がこれと同一の氏を称する子又は養子を有するに至つたときは、その者について新戸籍を編製する。
- e 父母の氏を称する子は、父母の戸籍に入る。

(4) ワーキングプアの説明として適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 働く人の立場・視点からの取り組みで、格差の固定化を回避し、多様な働き方を可能にすることを目的としている。
- b 入社から定年まで雇用が保障される雇用慣行で、企業にとっては熟練労働者を社内に確保できる利点がある。
- c 低所得により生活が困窮している人たちのことをさし、非正規雇用や若年層に多い傾向がある。
- d 労働者の年齢、勤続年数または経験年数に応じて決定される賃金制度で、長く勤続するほど賃金が上昇する。
- e 場所や時間にとらわれない柔軟な働き方をさし、在宅勤務やサテライトオフィス勤務などがある。

## 2 保育に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

オ

英国の精神科医ジョン・ボウルビィが提唱し、「特定の他者に“くつつく”ことをさす。いつでもどこでもではなく、自分で何かをしようとするとき、何らかの危機に出会ったり、それが予測されたりしたときにでる恐れや不安など、ネガティブな感情を特定の他者に“くつつく”ことで調整しようとする欲求であり、その行動の傾向をいう。

- a 母性神話                      b 愛着                      c 基本的な生活習慣  
d 社会的な生活習慣            e 人見知り

(2) 認可保育所と認可外保育施設に関する説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。カ

- a 認可保育所と認可外保育施設は、いずれも育児・介護休業法に基づく基準を満たし、認可を受けている。  
b 認可保育所は保育所保育指針に準じて保育を行い、認可外保育施設は保育所保育指針に従って保育を行う。  
c 認可保育所と認可外保育施設は、いずれも全年齢に共通して一人当たり1.98m<sup>2</sup>以上の保育室と調理室、便所を有する。  
d 認可保育所の給食の基準は児童の健全な発育に必要な栄養量を満たすこととされ、認可外保育施設の給食の基準は年齢や発達、健康状態等に配慮した食事内容であることとされている。  
e 認可保育所の職員は保育者の3分の1以上が保育士又は看護師資格が必要とされるが、認可外保育施設の職員は保育士のみである。

(3) 次の説明に該当するマークを、下の a ~ e から一つ選びなさい。キ

このマークは、次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業が申請を行うことによって、厚生労働大臣から子育てサポート企業として認定を受けた証を示している。

- a                                      b                                      c                                      d                                      e

## 3 高齢者・共生に関する (1) ~ (6) の問いに答えなさい。

(1) 次の条文は、高齢社会対策基本法に示される基本的施策の一部である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

- ・国は、高齢期の生活の安定に資するため、( ① ) について雇用との連携を図りつつ適正な給付水準を確保するよう必要な施策を講ずるものとする。
- ・国は、高齢期の健全で安らかな生活を確保するため、国民が生涯にわたって自らの( ② ) に努めることができるよう総合的な施策を講ずるものとする。
- ・国は、国民が生きがいを持って豊かな生活を営むことができるようにするため、( ③ ) の機会を確保するよう必要な施策を講ずるものとする。

	①	②	③
a	公的年金制度	生涯学習	健康の保持増進
b	資産の形成	健康の保持増進	生涯学習
c	公的年金制度	健康の保持増進	生涯学習
d	公的年金制度	資産の形成	健康の保持増進
e	資産の形成	生涯学習	健康の保持増進

(2) 加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れの説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 加齢の場合は学習能力は維持されるが、認知症の場合は新しいことを覚えられない。
- b 加齢の場合はもの忘れの自覚がなくなるが、認知症の場合はもの忘れの自覚はある。
- c 加齢の場合は進行するが、認知症の場合は極めて徐々にしか進行しない。
- d 探しものに対して、加齢の場合はいつも探し物をしたり、誰かが盗ったなど他人のせいにすることがあるが、認知症の場合は自分で努力して見つけられる。
- e 加齢の場合は体験したことをすべて忘れるが、認知症の場合は体験したことの一部を忘れる。

- (3) 次のボディメカニクスの基本条件の一部について、( ① ) ~ ( ④ ) に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

コ

- ・ 重心の位置を ( ① ) する。
- ・ 対象者を ( ② ) に動かす。
- ・ 動作の方向に ( ③ ) を向ける。
- ・ ( ④ ) の原理を応用する。

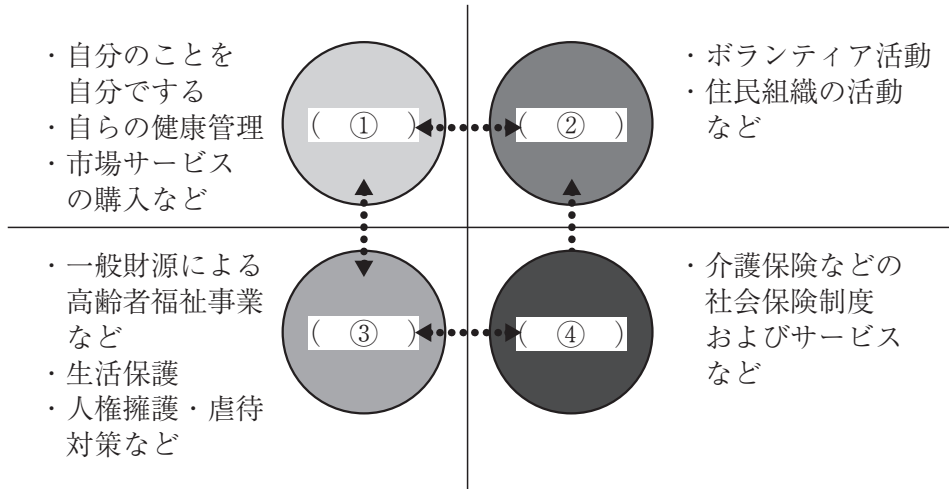
	①	②	③	④
a	高く	垂直	体全体	てこ
b	低く	垂直	足先	てこ
c	低く	水平	足先	てこ
d	低く	垂直	体全体	摩擦
e	高く	水平	足先	摩擦

- (4) ユニバーサルデザインの7原則とその事例の組み合わせとして適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

サ

	原則	事例
a	アクセスしやすいスペースと大きさを確保されていること	右利き, 左利き, 両方に対応したはさみ
b	使ううえで自由度が高いこと	レバーハンドル式のドアノブ
c	使い方が簡単ですぐわかること	自動ドア, 低床バス
d	必要な情報がすぐに理解できること	ピクトグラムを用いた表示
e	無理な姿勢をとることなく, 少ない力でも楽に使用できること	シャンプーとリンスを区別するためのシャンプーボトルの凹凸

(5) 次の図は自助・共助・互助・公助について示したものである。図中の ( ① ) ~ ( ④ ) に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。



	①	②	③	④
a	自助	互助	共助	公助
b	互助	自助	公助	共助
c	自助	共助	公助	互助
d	共助	自助	互助	公助
e	自助	互助	公助	共助

(6) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

一人ひとりの違いを尊重しながら、社会の構成員として互いを承認し、人々の孤独や孤立、排除や摩擦を削減し、みなを社会に包み込んでいく考え方。

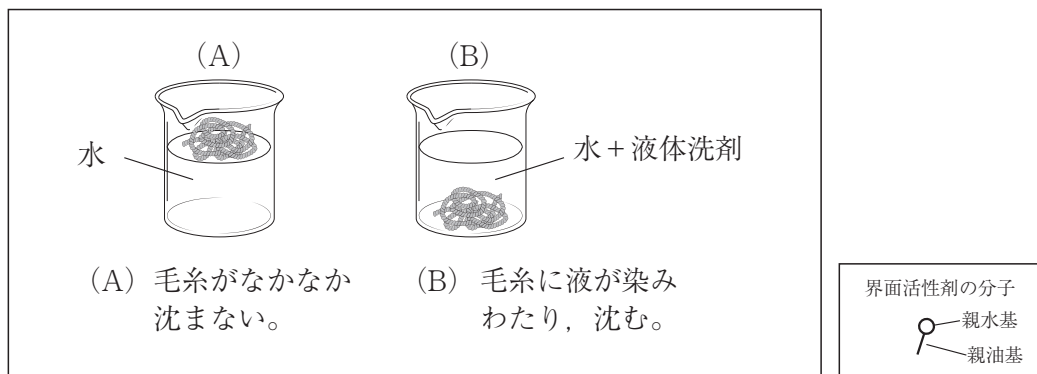
- a 機会均等
- b ソーシャル・インクルージョン
- c ソーシャル・エクスクルージョン
- d 多様性
- e バリアフリー



第2問 衣生活, 食生活, 住生活に関する各問いに答えなさい。

1 衣生活に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

(1) 次の図は界面活性剤の働きを理解する実験の様子を示しているが (B) の状態における界面活性剤の働きを示すものとして適切なものを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。なお, 実験では, 水, 液体洗剤, 毛糸, ビーカーを用いている。



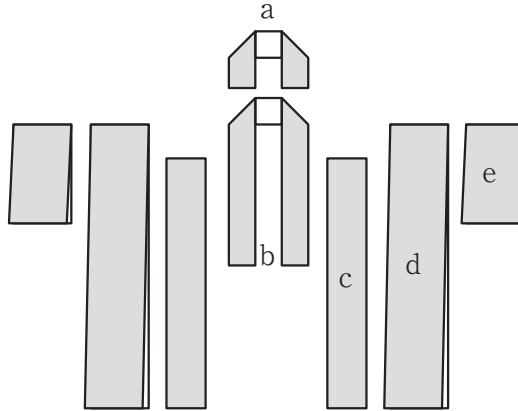
- |                                  |                                     |   |                                   |
|----------------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------------|
| a                                | b                                   | c                                       | d                                 |
| <p>汚れ</p> <p>洗濯物</p>             | <p>汚れ</p> <p>洗濯物</p>                | <p>汚れ</p> <p>洗濯物</p>                    | <p>洗濯物</p>                        |
| <p>界面活性剤は, 親油基を汚れの表面に向けて集まる。</p> | <p>界面活性剤が浸透作用により, 汚れと繊維の間に入り込む。</p> | <p>乳化作用と分散作用によって, 汚れは少しずつ水中に取り出される。</p> | <p>再付着防止作用によって, 汚れは再び繊維につかない。</p> |

(2) 次の説明文に該当するマークとして適切なものを, 下の a ~ e から一つ選びなさい。

このマークは, 繊維上の細菌の増殖を抑制し, 防臭効果と安全性が繊維評価技術協議会で認定されたものに付ける。

- a                      b                      c                      d                      e

(3) 次の図は、和服の構成を示したものである。おくみに該当する部分を、図中の a ~ e から一つ選びなさい。



(4) すその縫いしろの始末の名称と縫い目の図の組み合わせとして適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

	a	b	c	d	e
名称	まつり縫い	奥まつり	たてまつり	ちどりがけ	三つ折りミシン
縫い目の図					

## 2 食生活に関する (1) ~ (6) の問いに答えなさい。

(1) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

オ

安全に食べられるにもかかわらず、さまざまな理由で廃棄されようとしている食品を企業や個人から受け付け、生活困窮者など食料支援を必要とする人たちに無料で提供する活動のこと。

- a フードファディズム
- b 子供食堂
- c ポストハーベスト
- d フードバンク
- e 食品ロス

(2) 味の相互作用について、効果と説明の組み合わせとして適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

カ

	効果	説明
a	抑制効果	濃い食塩水を飲んだ直後の水は甘く感じる。
b	変調効果	甘いものを続けて食べると甘みの感度が鈍るように、同じ味を長く味わっていると、味を感じる感度が鈍る。
c	相乗効果	コーヒーに砂糖を加えるなど、苦味と甘味を組み合わせると苦味が弱まる。
d	順応効果	こんぶとかつお節の混合だしなど、うまみとうまみを組み合わせるとうまみが増強される。
e	対比効果	しるこに少量の食塩を加えるなど、甘味と塩味を組み合わせると甘味が強まる。

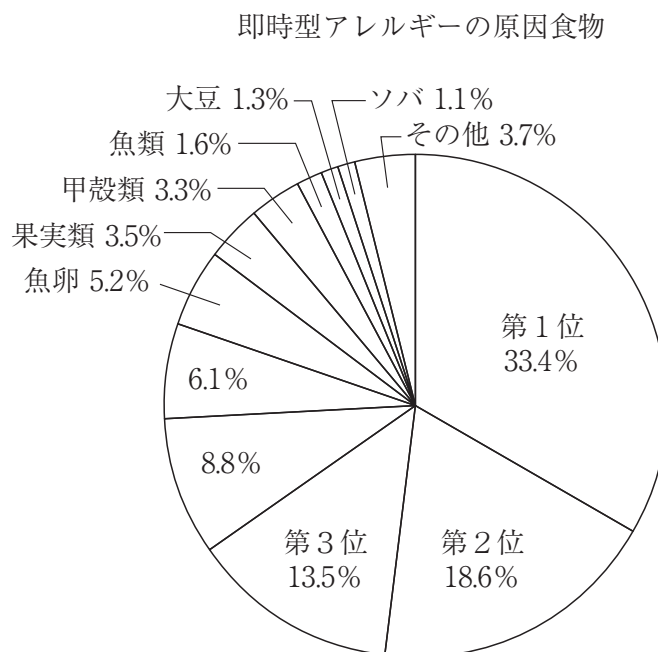
(3) マヨネーズが分離する要因として適切なものを，次の a～e から一つ選びなさい。

キ

- a 初めに，卵黄に調味料を加えてよく混ぜ，酢を加えてからさらによく混ぜた。
- b レシチンを含む卵黄の鮮度が低かった。
- c 卵黄の温度が16～18℃であった。
- d 卵黄に含まれるレシチンが酢と油を結び付け，水中油滴型エマルジョンが均一な状態になっていた。
- e 油を加えるとき，まず2～3滴加えてよくかくはんし，油の量を少しずつ増やしながらかくはんを繰り返した。

(4) 次の図は，即時型食物アレルギーの原因食物について示したものである。第1位から第3位までに該当する原因食物の組み合わせとして適切なものを，下の a～e から一つ選びなさい。

ク



(消費者庁「令和3年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告書」より作成)

	第1位	第2位	第3位
a	鶏卵	小麦	木の実類
b	小麦	牛乳	鶏卵
c	鶏卵	牛乳	木の実類
d	牛乳	鶏卵	小麦
e	牛乳	鶏卵	木の実類

- (5) 食品の下処理について、野菜とその方法の組み合わせとして適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

	野菜	下処理の方法
a	ごぼう	皮の真下にあるうまみや香りを生かすため、包丁のみねなどで皮をこすり取る。
b	さといも	火の通りや味のしみ込みをよくするため、材料の表面から見えないところに包丁目を入れる。
c	たけのこ	食品についているぬめりを取るために、塩でもんでゆで、ゆで汁を切る。
d	大根	色よく仕上げるために、塩を加えた湯で材料をゆでる。
e	青菜	あらかじめ、酢に短時間ひたす。

- (6) すし飯をつくるときの合わせ酢について、空欄( ① )・( ② )に該当する数字の組み合わせとして適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

米	80g
水	100ml (100g)
合わせ酢	
酢	大さじ( ① ) ( ② )g (米重量の15%)
砂糖	大さじ1/2弱 4g
塩	小さじ1/5 1.2g

	①	②
a	1/2	15
b	2/3	15
c	2/3	12
d	4/5	15
e	4/5	12

3 住生活に関する (1) ～ (3) の問いに答えなさい。

(1) スケルトン・インフィル方式の説明として適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

- a 住宅の骨組み・構造体を耐久性の高いものにするとともに、中身を住む人のニーズに合わせて自由に組替えることのできるように設計を工夫する。
- b 住まいの断熱性・省エネ性能を上げ、太陽光発電などでエネルギーをつくることにより、年間の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする。
- c 住み手が企画・設計段階から参加し、協同で建設・運営する。
- d 住み手は独立した専用空間を持ち、生活の一部を共同化する。
- e 若い世代を中心にみられ、一つの住居に血縁のない複数の人が同居する。

(2) 世界の住まいについて、住居の写真と説明文の組み合わせとして適切なものを、下の a ～ e から一つ選びなさい。

あ

い

う

え

お

- ① 二重張りのフェルトで覆い寒さを防ぎ、蛇腹式に折り畳んで移設できる住まい。
- ② 高温多湿な地域にある地表からの熱を防ぐための高床式の住まい。
- ③ 粘土や玉石を押し固め厚い壁を巡らせて、盗賊団が入れないようにした住まい。
- ④ 日干しレンガと丸太で作られ、一年を通して、猛暑や極寒でも一定の温度を保つ住まい。
- ⑤ 雪を固めたブロックを積み、アザラシの毛皮を内側に張って保温性を高めた住まい。

a お・②    b い・①    c え・③    d う・⑤    e あ・④

(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

ス

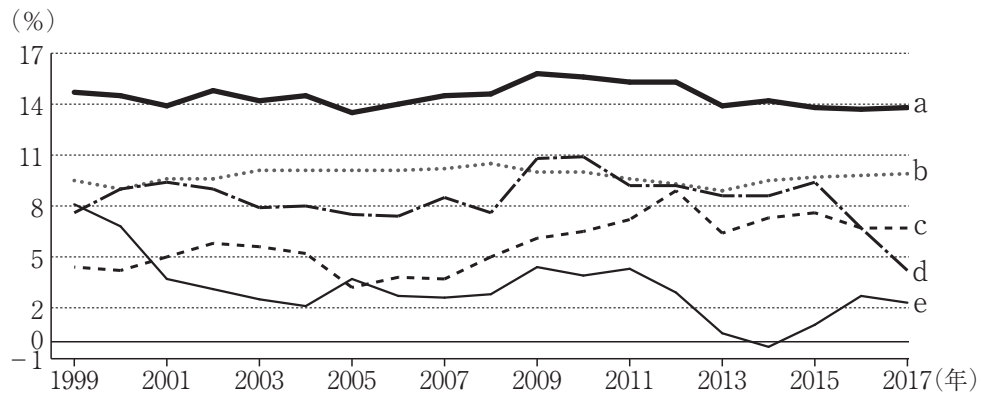
家電や電気設備・ガスメーターとつなぎ、電気・ガスの使用量を「見える化」し、また家電機器を自動制御し住まい手が省エネの目標を設定することにつながるシステムのこと。

- a インフラストラクチャー
- b ZEH
- c リノベーション
- d HEMS
- e ゲストハウス

## 第3問 家庭経済，消費生活・環境に関する各問いに答えなさい。

## 1 家庭経済に関する(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の図は，家計貯蓄率の国際比較を示したものである。対象国は，日本，ドイツ，アメリカ，フランス，イギリスである。日本に該当するものを，図中のa～eから一つ選びなさい。



(金融広報中央委員会「知るぽると」HPより作成)

- (2) クーリング・オフ制度の説明として適切ではないものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a クーリング・オフ制度には適用される商品やサービスに制限はない。
- b クーリング・オフの通知は，書面のほか，電子メール，USBメモリ等の記録媒体，事業者が自社のウェブサイトに掲げるクーリング・オフ専用フォーム，FAX等でも行うことができる。
- c クレジット契約の場合は，販売会社とクレジット会社に同時にクーリング・オフの通知を行う。
- d クーリング・オフをはがきで行う場合は，送付する前に，はがきの両面をコピーし，特定記録郵便または簡易書留など発信の記録が残る方法で代表者あてに送付し，コピーや送付の記録は保管する。
- e 送付の記録や関係書類は，少なくとも5年間保管しておく。



(3) 自己破産の手続き開始決定を受けた場合の影響として適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 自分の土地やその他の財産のほとんどは処分され、借金の返済にあてられるが、自分の家は処分されない。
- b 免責が決定されるまでは、弁護士・税理士・公認会計士などの資格や会社の役員などの立場は失われる。
- c 自己破産してから免責されると、その後10年間は再び自己破産することはできない。
- d 借金の保証人や連帯保証人になった人が、本人に代わって借金の返済を求められることはない。
- e 銀行やクレジット会社からの信用がなくなり、クレジットカードが利用できなくなるが、融資を受けることはできる。

2 消費生活・環境に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 再生可能エネルギーの説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

エ

- a 石油, 石炭, 天然ガスから作られる。
- b 化石燃料から作られた電気やガスなどのエネルギーよりも, 環境への負荷が大きい。
- c 太陽光, 風力, 地熱, バイオマスなどから作られる。
- d 日本の電源構成に占める再生可能エネルギー比率 (2017年) は, ドイツやイギリスなどの諸外国と比べて高い水準にある。
- e 温室効果ガスを排出せず, 国内で生産可能であり, 重要な高炭素の国産エネルギー源である。

(2) 次の説明文に該当する語句として適切なものを, 下の a ~ e から一つ選びなさい。

オ

環境だけでなく, 地域の活性化や雇用なども含む, 人や社会に配慮した消費行動。

- a SDGs
- b 拡大生産者責任
- c シェアリング・エコノミー
- d CSR
- e エシカル消費

(3) 次のマークの説明として適切なものを，下の a～e から一つ選びなさい。

カ

- a 古紙を規定の割合以上，原料に利用した製品に付ける。
- b 持続可能性の達成を目的とした環境・社会・経済面の厳格な基準に則って管理されている農園や森林に付く。
- c 印刷物などで再生紙を使用している商品に付ける。
- d 森林管理協議会の基準に基づき，認証を受けた製品に付ける。環境や地域社会に配慮し，管理された森林に由来する。
- e 森林を健全に育てるために行う間伐によって，伐採された木材を用いた商品であることを示す。

## 【選択問題 中学校】

第4問 学習指導要領に関する(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編（平成29年7月）第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 B 衣食住の生活 衣生活の一部である。  ～  に該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

- ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。  
 イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

ここでは、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題をもって、製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、資源や環境に配慮して製作計画を考え、製作を工夫することができるようにすることをねらいとしている。

**生活を豊かにするための布を用いた製作**とは、身の回りの生活を快適にしたり、便利にしたり、さらに資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする物を製作することである。布を用いた製作は、生活に役立つばかりではなく、家族や地域の人々との関わりを深めたり、  への関心を高めたり、  について考えたりすることにつながり、生活を豊かにするための営みに係るものである。

また、製作を通して、自分自身が豊かな気持ちになることに気付くことができるようにするとともに、  など布を無駄なく使うことが、資源や環境への配慮につながることを理解し、製作を工夫することができるようにする。

a 健康    b 快適さ    c 安全    d 生活文化    e 環境

a 防災    b 生活の課題    c 生活の営み  
 d 地域社会    e 持続可能な社会の構築

a 衣服と社会生活との関わり    b 衣服の適切な選択  
 c 衣服の計画的な活用    d 日常着の手入れ  
 e 衣服等の再利用

- (2) 次の文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編（平成29年7月）第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項（4）題材の設定の一部である。[工]～[キ]に該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

家庭分野においては、例えば、「C 消費生活・環境」の(1)及び(2)については、内容の「A家族・家庭生活」又は「B衣食住の生活」との関連を図り、題材を設定することが考えられる。

また、生徒や学校、地域の実態等を十分考慮するとともに、次の観点に配慮して実践的・体験的な活動を中心とした題材を設定して計画を作成することが必要である。

- ① 小学校における家庭科及び図画工作科等の関連する教科の指導内容や中学校の他教科等との関連を図るとともに、高等学校における学習を見据え、教科のねらいを十分達成できるよう[工]な内容を押さえたもの。
- ② 生徒の発達の段階に応じたもので、[オ]を高めるとともに、生徒の[力]な学習活動や個性を生かすことができるもの。
- ③ 生徒の身近な生活との関わりや社会とのつながりを重視したもので、自己の生活の向上とともに家庭や[キ]における実践に結び付けることができるもの。
- ④ 持続可能な開発のための教育を推進する視点から、関係する教科等のそれぞれの特質を踏まえて連携を図ることができるもの。

[工] a 実践的・体験的      b 総合的      c 基礎的・基本的  
d 発展的                      e 系統的

[オ] a 興味・関心              b 自尊心      c 達成感  
d 実践力                      e 生活の質

[力] a 計画的                      b 効果的      c 協働的  
d 主体的                      e 継続的

[キ] a 学校                          b 地域社会      c 社会  
d 他教科                      e 消費生活

## 【選択問題 高等学校】

第4問 学習指導要領に関する次の問いに答えなさい。

次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編（平成30年7月）第1章 総説 第3節 家庭科の目標 の一部である。[ア]～[カ]に該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

(2)の目標は、次のような学習過程を通して、習得した「知識及び技能」を活用し、「思考力、判断力、表現力等」を育成することにより、課題を解決する力を養うことを明確にしたものである。(略)

**家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し**とは、本解説第1部第1章第2節1において、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせつつ、生活の中での様々な問題の中から課題を設定し、その解決を目指して解決方法を検討し、計画を立てて実践するとともに、その結果を評価・改善するという活動の中で育成できると考えられる。と示されたことを踏まえ、小学校では「日常生活の中から問題を見だし…」、中学校では「家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし…」と示されているのに対して、高等学校は「家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし…」としており、各校種における学習対象の違いを明確にしたものである。このことは、小・中・高等学校の[ア]を踏まえつつ、学習対象としての広がり留意して指導することが大切であることを意味している。

**解決策を構想し**とは、解決の見通しをもって計画を立てることを通して、生活課題について他の[イ]と関連付け、生涯を見通して多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する力を育成することについて示したものである。その際、様々な人々との関わりを通して他者からの意見等を踏まえて、計画を評価・改善し、最善の方法を判断・決定できるようにする。

**実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する**とは、実習や観察・実験、調査、交流活動等の結果等、課題の解決に向けて実践したことを[ウ]、考察したことを発表し合い、他者からの意見を踏まえて改善策を検討するなど、実践活動を評価・改善する力を育成することについて示したものである。その際、[エ]したことを科学的な根拠に基づいて理由を明確にして論理的に説明したり、発表したりすることができるようにする。

**生涯を見通して生活の課題を解決する**とは、自立した生活者として、様々な人々と関わり合う中で、他者の立場を考え、多様な意見や価値観があることを踏まえつつ、よりよい生活の実現に向けて、身近な生活の課題を主体的に捉え、具体的な[オ]を通して、課題の解決を目指すことを意味している。

このような一連の学習過程は、本解説第1部第1章第2節1において、㊦生活の課題発見、㊧解決方法の検討と計画、㊨課題解決に向けた実践活動、㊩実践活動の評価・改善と整理することができるように示されている。(学習過程の参考例) これらの学習過程を通して、生徒が自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする、カや有用感を涵養し、次の学習に主体的に取り組むことができるようにすることが大切である。

なお、この学習過程は、生徒や学校の実態や題材構成に応じて異なることなどに留意する必要がある。また、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動と関連を図り、一連の学習過程として位置付けることも考えられる。

- |   |        |          |        |
|---|--------|----------|--------|
| ア | a 生活経験 | b 家庭科の学び | c 系統性  |
|   | d 実践活動 | e 学習過程   |        |
| イ | a 生活課題 | b 家庭科の学び | c 生活事象 |
|   | d 実践活動 | e 学習対象   |        |
| ウ | a 評価し  | b 振り返り   | c 改善し  |
|   | d 説明し  | e 判断し    |        |
| エ | a 評価   | b 計画     | c 改善   |
|   | d 分析   | e 考察     |        |
| オ | a 体験   | b 計画     | c 改善   |
|   | d 実践   | e 説明     |        |
| カ | a 思考力  | b 達成感    | c 表現力  |
|   | d 実践力  | e 判断力    |        |

## 【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の表は、令和4年12月13日に文部科学省により示された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」に関するものである。

(1) 小学校・中学校の「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

<小学校・中学校>

	推定値
学習面又は行動面で著しい困難を示す	<input type="text" value="ア"/> %

a 4.6    b 6.5    c 7.3    d 8.8    e 10.3

(2) 学校種別ごとの「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、～に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

	推定値			
	学習面又は行動面で著しい困難を示す	A	B	C
小学校	<input type="text" value="イ"/> %	7.8%	4.7%	2.0%
中学校	<input type="text" value="ウ"/> %	3.7%	2.6%	1.1%
高等学校	<input type="text" value="エ"/> %	1.3%	1.0%	0.5%

※ A：「学習面で著しい困難を示す」、B：「不注意」又は「多動性－衝動性」の問題を著しく示す、C：「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す」

a 0.9    b 2.2    c 5.6    d 8.2    e 10.4



- 2 次の文は、令和5年3月に文部科学省より示された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について（通知）」の一部である。文中の  ～  に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

この度、文部科学省の下に設置された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」において、令和5年3月13日に報告が取りまとめられました。

(中略)

具体的には、

- ・校長のリーダーシップの下、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態を適切に把握し、適切な指導や必要な支援を組織的に行うための  を充実させること
- ・児童生徒が慣れた環境で安心して通級による指導を受けられるように  や巡回指導をはじめとする通級による指導を充実させること
- ・通級による指導を担当する教師等の専門性の向上を図ること
- ・高等学校における通級による指導の実施体制を充実させること
- ・特別支援教育に関する専門的な知見や経験等を有する特別支援学校における小中高等学校等への指導助言等の  を充実させること
- ・よりインクルーシブで多様な教育的ニーズに柔軟に対応するため、特別支援学校を含めた2校以上の学校を一体的に運営するインクルーシブな学校運営モデルを創設すること

などについて提言されています。

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| a 多様な学びの場 | b カリキュラム・マネジメント |
| c 学校運営協議会 | d 校内支援体制        |

- |           |        |
|-----------|--------|
| a グループ別指導 | b 自校通級 |
| c 他校通級    | d 個別指導 |

- |             |           |
|-------------|-----------|
| a カウンセリング機能 | b 一貫した支援  |
| c 継続的な支援    | d センターの機能 |

- 3 次の文は、特別支援学校学習指導要領解説（平成30年3月）各教科等編（小学部・中学部）第4章 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科 第2節 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の特徴について 3 指導の形態についての記述の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

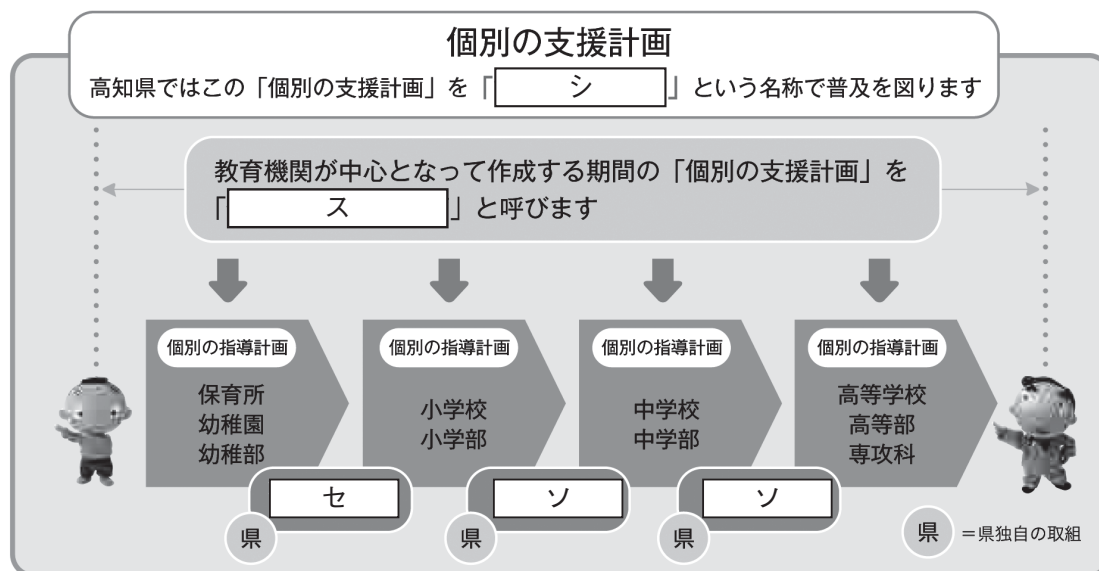
知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、児童生徒の学校での生活を基盤として、 の流れに即して学んでいくことが効果的であることから、従前から、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれている。

各教科等を合わせて指導を行うことに係る法的な根拠は、 第130条第2項に、特別支援学校において「知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳科、、特別活動及び自立活動の について、合わせて授業を行うことができる」とされていることである。

- |   |             |          |             |
|---|-------------|----------|-------------|
| ク | a 発達や指導     | b 興味や関心  | c 学習や生活     |
|   | d 指導計画や内容   |          |             |
| ケ | a 教育基本法     | b 地方公務員法 | c 学校教育法施行令  |
|   | d 学校教育法施行規則 |          |             |
| コ | a 外国語活動     | b 学級活動   | c 総合的な学習の時間 |
|   | d 総合的な探究の時間 |          |             |
| サ | a 全部又は一部    | b 全部     | c 一部        |
|   | d 特に示す部分    |          |             |

- 4 高知県教育委員会で作成した「高知県の特別支援教育 すべての子どもが輝くために」では、特別な支援を必要とする子どもたちへの切れ目のない支援を実現する仕組みとして次の図を示している。

図中の  ～  に当てはまる語句を、下の1～7から一つずつ選びなさい。



- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1 個別の教育支援計画 | 2 個別の移行支援計画  | 3 アセスメントシート  |
| 4 つながるノート   | 5 就学時引き継ぎシート | 6 キャリア・パスポート |
| 7 支援引き継ぎシート |              |              |



